

兵庫県立姫路工業高等学校 平成21年度学校評価結果について

1 学校運営の目標・方針

本校の教育目標である「ものづくりは、人づくりから」の実現において、人づくりのための具体的方策として「(ア)挨拶をする・(ヒ)人の話を聴く・(ル)ルールを守る」を実践し、「地域に根ざし、日本一の工業高校」をめざし、そして一人一人の夢を叶える元気溢れる教育活動を推進する。

2 本年度の重点目標

生徒が育つ学校づくり

<p>1 教育内容の改革と内容仕組みの充実 (ア) 専門教育の充実 (イ) 進路指導の充実 (ウ) 地域貢献・ものづくり事業の充実</p> <p>3 情報の共有化 (ア) 情報・伝達の円滑な流れ (イ) 生徒理解 (ウ) 最新情報の共有</p>	<p>2 豊かな心の育成 (ア) 部活動の活性化 (イ) 心の教育の充実 (ウ) 人権教育の充実</p> <p>4 明るい職場環境 (ア) コミュニケーションの活性化 (イ) 勤務時間の適正化</p>
--	--

*** 本年度は評価項目を精選し重点目標についての学校評価とした。したがって、評価については目的達成に向けての動きがどの程度進んでいるかについて評価してください。**

3 学校自己評価結果

A: 優れている B: 良い C: おおむね良好 D: 要改善

分野	評価項目・取り組み内容	内部評価%					判定	学校の取り組み状況・改善の方策
		A	B	C	D			
1 教育内容の充実								
(ア) 専門教育の充実	・わかる授業＝学力の定着						(取組み) 授業アンケートの実施。公開授業の実施。	
授業評価の実施	【指標】授業アンケートの実施	9	51	38	2	B	(改善策) 無記名での授業アンケート。定期的な公開授業の実施。	
資格取得	・ジュニアマイスター・高度資格取得						(取組み) 早朝補習の実施。校内の検定担当者を決め責任を持たしている。	
	【指標】自主学習への取り組み。	23	45	26	6	B	(改善策) JMの取組みを各科で検討。担任の意識に差がある。ここ数年のJMの比較検討。自学への仕掛。	
(イ) 進路指導の充実	・データ分析による進学・就職指導						(取組み) 一覧表は出てくるが分析がない。面接指導不十分。目的意識を持たせた模試の受験。	
	【指標】模擬試験の定着。	6	47	36	11	B	(改善策) 進路指導部と学年の連携。データの活用による生徒の意識改革。	
	・ガイダンス機能の充実						(取組み) 外部機関に依頼した進路・就職ガイダンスを開催。	
	【指標】情報提供への取り組み。	4	55	30	11	B	(改善策) 進路指導部がリーダーシップを発揮。早い時期からの就職、進学の情報提供。	
(ウ) 地域貢献・ものづくり事業の充実	・ものづくりを通しての地域連携及び活性化に貢献。						(取組み) 地域貢献授業、ものづくりコンテスト、出前授業の推進。	
	【指標】地域貢献事業の実施及びものづくりコンテストでの活躍。	49	43	8	0	A	(改善策) 広報活動の充実。予算減少のための工夫。	
2 豊かな心の育成								
(ア) 部活動の活性化	・文武両道。						(取組み) 部活動の加入率非常に高い。文化部の発表の場がほしい。	
	【指標】部活動活性化状況	32	53	11	4	A	(改善策) 部活動数を精選。文武両道の文で真の学力を如何につけるか。	
(イ) 心の教育の充実	・「心」「技」「体」バランスの取れた生徒の育成。						(取組み) 生徒は「ア・ヒル」の推進をしているが「やらされている」義務的なものがあるのではないか。	
	【指標】「ア・ヒル」のより一層の推進。	11	64	21	4	A	(改善策) 「ア・ヒル」を教師が率先垂範すべき。	
(ウ) 人権教育の充実	・人権感覚を高める。						(取組み) 人権感覚を高めるための研修会の実施。	
	【指標】人権教育HR、研修会の充実	2	64	32	2	B	(改善策) 普段の生徒への取り組みの中で実践。	
3 情報の共有化								
(ア) 情報・伝達の円滑な流れ	・学年・科・部署の連携。						(取組み) 職員朝礼を毎日行うなどの改善はされているが、会議内容がすべての職員に伝わっていない。	
	【指標】会議内容の全体への共有化。	4	38	45	13	B	(改善策) 上の学年から良い点・改善点を引き継ぐことのマニュアル化。	
(イ) 生徒理解	・個に応じた支援						(取組み) 教育相談の活用。支援チームによる共通理解で資質の向上。	
	【指標】教職員の資質向上及び共通理解。	4	49	43	4	B	(改善策) 家庭、病院、学校間の連携と適切な対応。	
(ウ) 最新情報の共有	・校外研修への参加。						(取組み) 少数の職員が校外研修報告を行っている。	
	【指標】報告会の実施。	2	30	51	17	C	(改善策) 校外の各科・各部の研修会に参加した場合の報告義務化。	
4 明るい職場環境								
(ア) コミュニケーションの活性化	・職員間の挨拶。						(取組み) 職員対職員、職員対生徒への挨拶運動の励行。	
	【指標】さわやか度。	6	53	36	4	B	(改善策) 挨拶週間を設ける。	
(イ) 勤務時間の適正化	・勤務にメリハリをつける。						(取組み) ノー会議デー、ノー部活デーを設けているが日常の業務に追われ実施できていないのが現状である。	
	【指標】月曜日をノー会議デー及びライト部活デーとする。	2	32	23	43	C	(改善策) 指標の徹底。業務量の差を均等化。勤務超過による負担のサポート体制を整備。	